

自己評価日時：令和元年12月13日(金)

事業所名 放課後等デイサービス
ぬくもり山荘

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切です。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			運営基準に適した人員配置をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所内には、エレベーター、車いすの方も利用できるトイレが設置されており、バリアフリー化の配慮をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			全職員に支援会議に参加してもらい、目標設定の周知を行っています。利用終了後には日々の支援記録を全職員で記載し、支援の振り返りとモニタリングを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年保護者アンケート調査を実施し、その中の貴重な意見を基にして、業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当事業所のホームページ内に、事業者向け自己評価結果表、保護者等からの事業所評価の集計結果表を公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者外部評価は現在行っておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			年3回の社内研修実施、年3回の地区児発研修会参加、年1回の児発連全体研修参加、その他区の自立支援協議会研修に参加しています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			放課後等デイサービス計画書作成時には必ず保護者との面談を行い、保護者・利用者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画作成しています。今後もより良い計画を立てられるように努めていきたいと思えます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されたアセスメントツールを作成し、活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎週行う週間会議には全職員が参加し、翌週の活動プログラムを話し合い、決めています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラムについて話し合う時には、活動一覧表の活用と以前の活動内容を確認し、プログラムが固定化されないように話し合っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、休日、長期休暇等、日々の活動時間に合わせた活動プログラムを立案して、支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子ども個人個人のニーズと課題に合わせて、個別・集団活動を組み合わせた放課後等デイサービス計画書を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			週間会議で事前に決めておいた活動内容や役割等、更に良い支援に繋がるように、毎日時間を決めて打ち合わせを実施しています。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後に時間を決めて打ち合わせはしていませんが、必要事項があるときは、随時職員間で申し送りを行っています。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		利用者個人個人の計画書に沿った日々の支援記録を毎日記録しており、支援の検証、改善につなげています
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		日々の支援記録を活用し、モニタリングと評価を行い、見直しの必要性を判断しています。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		ガイドラインについての勉強会を開催し、日々の支援の振り返りと、支援の質の向上を目指しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		担当者会議には当該利用者の担当が参加しています。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		学校との情報共有の他に、保護者からも情報共有をさせていただき、連絡調整を行っています。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		受け入れ体制を整えていますが、現在、医療的ケアを必要とする子の利用はありません。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		該当する利用者がある場合には、保護者に情報共有できるか確認し、可能であれば情報共有会を開催したい事を伝えています。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		利用者が、障害福祉サービス事業所等へ移行する時の移行会議に参加し、情報共有等の必要がある場合は積極的に参加したい事を改めて保護者に説明しています。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修には積極的に参加をしており、定期的なモニタリングでは助言をいただき、より良い支援の改善に努めています。
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	定期的な交流は現在ありませんが、年1回のぬくもり山荘まつりの時は、地域住民を招待しており、障がいのない子どもたちにも来ていただき、交流の場を設けています。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		毎年、地区の祭りがある時には、作品等を提出しています。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		送迎時は家庭での様子を聞いたり、事業所での様子を伝えたりし、気軽に話ができるよう関わっています。また、専用携帯電話を用意し、保護者から気軽に電話ができるようにしています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		茶話会の中に、勉強会を設けて話し合いをしています。また、希望がある時には専用電話にて、随時相談や、家族支援をしています。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時には丁寧な説明を心がけており、わからない事がないか、保護者に聞きながら説明をしています。保護者からも気軽に質問を頂いています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談時や直通携帯電話、連絡帳で子育ての悩みなどに関する相談を随時受け、その都度必要な助言支援を行っています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会はありませんが、保護者同士の関わりができるように、ぬくもり山荘まつり、茶話会、親子レクリエーションを企画し、交流ができるように、保護者を招待しています
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情の窓口を用意しており、苦情が出た際は会社全体で対応策などを話し合い、苦情処理書類を作成し体制を整備し、保護者に迅速に説明、謝罪など行き適切に対応しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月「ぬくもり山荘たより」を発行し、活動時の写真や、連絡事項などを記載して、子どもや保護者に発信しています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には十分注意をしています。個人情報についての勉強会も行っています。
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			子どもと保護者の気持ちに寄り添うように努め、必要な配慮をしています。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			年1回の「ぬくもり山荘祭り」を開催する時には、地域住民を招待して、皆さんにお越し頂いています。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルは職員が閲覧しやすいようにスタッフルームに用意されています。保護者には直接関係のある内容を連絡帳に添付して周知しています。また、各種マニュアルを基に、勉強会を実施しています。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年1回各事業所内合同避難訓練の他に、児童デイサービスでは、全利用者に参加してもらえるように曜日ごとに避難訓練を実施しています
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回の研修と、年3回の虐待事例検討会を設け、全職員が参加し、適切な対応をしています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			放課後等デイサービス計画書に、車いす乗車時に安全のためのベルトを着用する事と、自傷・他傷行為がみられた時にやむを得ず身体拘束する事について保護者に説明し、了承を得たうえで記載しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者からの聞き取りを十分に行っています。指示書がある場合には、基づく対応をしています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			年3～4回全職員でヒヤリハット事例検討会を実施しています。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。